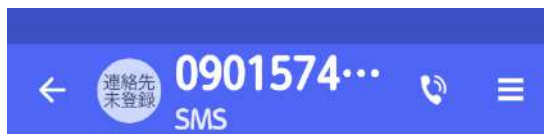


校長通信

令和6年11月21日

詐欺メール受信



11月19日

NTTよりお知らせ
料金請求について
ご説明が御座います
050 5541
至急こちら迄ご連絡ください。

SMS 09:32

左は、先日私の携帯に届いたショーメールです。明らかに不自然な点があります。

まず、東日本でもなければ西日本でもない、ただNTTとだけあるのが怪しい。そのNTTがああNTTなら、至急連絡が欲しい時に個人の携帯からメールするのでしょうか？

そもそも日本語が変。「ご」の使い方に着目すると、「ご料金」とは言わないでしょう。「ご電話料金」て言われたら、日本人？って疑ってしまいます。「御座います」だけ漢字で「御」となるのも変だし、「ご説明」とくれば、「ご説明いたします」「ご説明申し上げたいことがございます」となるでしょう。電話番号は普通「こちら」の下に書くだろう、などと考えて、「詐欺メール」と判断しました。

外国人が関与しているから、詐欺メールの日本語は変だと言われていますが、もしかすると意図的なのではないかと考えてしまうネット記事がありました。それは、ある迷惑メール評論家によるものです。

「(明らかに嘘とわかる偽の求人情報に飛びつき、自分の情報を提供してしまうのは)『バカ(カモ)を見分けるためのシステム』になっているから」で、「無知でバカで金のない者を、それはまるでラジコンのように思いのまま操る方法を“闇の奴ら”は知っており、『思い通りに動かせる本当に本当のバカにしか対応しない絶対的ルール』みたいなものが出来上がっている」と言います。

だから「闇バイト」の募集では、応募の電話の主にも少しでも知的な所があると、会話を打ち切ります。応募者が賢ければ、おとりであったり、途中で怪しんで、警察に相談されてしまったりすることも考えられます。足がつくりリスクを恐れるため、そういう人とは深く関わらないのです。

11月の全校集会で、「簡単バイト」「高額保証」「ホワイト案件」という言葉に誘われて応募する人が後を絶たないのが不思議だと言いました。闇バイトと気づかれないように巧妙に募集するようになったということもありますが、詐欺メールだとわかるように募集し、「カモ」をあぶりだしていると考えると納得してしまいます。

テレビも見ない、新聞も読まない、警察の注意喚起のSNSも見ない、ネットのニュースさえ見ない、ネットで見るのは自分の興味があるものだけ、もちろん家でワイドショーを見ながら闇バイトを話題に家族と会話することもない、そういう若者が「カモ」になって事件を引き起こしてる、とも言えそうです。

(皆さんには様々な機会でご説明を提供しているので、そういう点は大丈夫です。)

今日の新聞の記事です。「闇バイトに応募後、詐欺事件への関与を断った横浜市の男性宅に侵入したとして、(略)19歳の男と17歳の少年を逮捕」「警察は背後に指示役がいるとみて捜査を進める」

この記事からわかるのは、いったん応募してしまうと、事件に関与して逮捕されるか、断ったとしても、闇バイト応募者に襲われるしか道はないということです。

皆さんには、「カモ」にならないよう、もっと賢くなって、闇バイトの募集には決して近づくことのないようお願いしています。

